

# 総合的な学習の時間(5年)・生き物委員会の取り組み

## ホタルの幼虫の飼育

平成24年9月7日

ゲストティーチャーに、まちづくり協議会会長の  
村内実様をおむかえして、幼虫の飼育の仕方を  
教えていただきました。



どれが幼虫か  
わかるかな？

水そうの底に  
さんごを敷きます。

幼虫をスポイトで  
きずつけないように水そう  
にうつします。



えさのカワニシを入れます。  
父親委員会の皆さんがとって  
くださっています。

エア-を切らないように  
井戸水で育てます。



生き物委員会でも  
育てています。

# ほたるの幼虫の放流

ごみのないきれいな川にほたるの幼虫を放流するために、  
毎年、小原側の清そうに行ききます。

毎年2学期のおわりごろ、大きくなった幼虫の数を数えます。  
平成24年度は約110匹でした。



毎年、100匹の幼虫を大きくしています。幼虫は十分に成長するまで6～7回脱皮し、体長は大きいもので3cmになります。

毎年、12月に学校のほたる池と地域の小原川に幼虫を放流しています。ほたるの光を未来の湯川に伝えていきたいです。



毎年、地域のほたる祭りで、生き物委員会の取り組みを発表しています。



**ビオトープ紹介  
看板もできまし  
た！**

**湯川小学校** **ビオトープ**

生き物 (BIO) が自然のままに生きている場所 (TOP) という意味のドイツ語です。

**目的**  
自然の水草、プランクトン、小さな魚、昆虫等が一つながりになっていることや自然環境の成り立ちを学ぶために作られました。

**歴史**  
平成 6年 ほたる広場の観音池完成 (創立 20 周年)  
平成 8年 ほたるまつり開催  
平成 16年 ビオトープ完成 (創立 30 周年)  
平成 19年 ほたるサミット北九州参加  
平成 20年 わくわく池のプロジェクト活動によるビオトープ再生のための改修  
「環境首都！子どもサミット」発表

**ビオトープの植物や生き物**

アサザ	しょうゆ	
ヤゴ	ほたる	めだか
あめんぼ	カエル	